

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束による弊害、環境や支援方法の見直しについて、理解を深める必要がある。	身体拘束による弊害について理解を深め、環境や支援方法の見直しを行う。	定期的にミーティングを行い、拘束のない環境作りや支援方法について、再確認する。	3ヶ月
2	14	人権について、職員が学べていない。	人権について、施設内で研修を実施する。	施設内研修に人権についてを追加する。	3ヶ月
3	37	避難訓練を実施する際に夜間想定 of 訓練、地域住民や消防署員の参加がない。また、非常用食料等の備蓄がない。	夜間想定 of 訓練、地域住民や消防署員へ協力をお願いし、避難訓練を実施するようにする。非常用食料や備品等を備蓄する。	1年に1度、夜間想定 of 訓練、消防署員の参加を計画する。地域の住民に関しては、運営推進会議等で訓練への参加をお願いする。また、非常用食料や備品等を備蓄する。	6ヶ月
4	47	入浴回数を決めずに、利用者の希望に合わせた入浴支援が行えていない。	利用者の希望に合わせた入浴支援を行えるようにしたい。	できるだけ利用者の希望に合わせた入浴支援を行う。入浴を拒否された場合は、数日以内に入浴支援を行う。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。